

東京2020大会 自転車競技伊豆開催記念誌

レガシーを
未来へ。

Road to 2020 and beyond

伊豆市





INDEX

- 5 市長あいさつ
- 6 第1部 東京2020大会の開催記録
『TOKYO 2020』
 - 8 大会概要
 - 16 伊豆市に東京2020大会がやってきた!
 - 18 テストイベント
 - 20 東京2020オリンピック聖火リレー
 - 24 東京2020パラリンピック聖火リレー聖火フェスティバル
 - 26 オリンピック自転車競技(マウンテンバイク/トラック・レース)
 - 34 パラリンピック自転車競技(トラック・レース)
 - 38 東京2020大会 自転車競技結果
 - 40 日本代表選手の声
- 44 第2部 チーム伊豆市の軌跡
『Road to 2020』
 - 45 デイ・カウンターリレー
 - 54 カウントダウンイベント
 - 62 市民との取り組み
 - 70 次の世代へ
 - 86 ボランティア
 - 92 伊豆市役所の取り組み
 - 108 修善寺駅周辺
 - 112 広報実績
 - 121 スポンサー関連
- 122 第3部 大会レガシーをまちづくりの未来へ
『Legacy for the future』
- 128 資料編
『Data on TOKYO 2020』
- 138 編集後記





伊豆市長
きくち ゆたか
菊地 豊

2015年12月、伊豆市は世界のスポーツ・文化・平和の祭典であるオリンピック(自転車競技)の開催地となりました。市長室で通知を受けた時、伊豆半島を世界レベルのリゾート地とする大きなチャンスになると感じ、熱い思いが込み上げてきたことを今でも強く覚えています。

東京2020大会を迎えるにあたり、アクセス道路や多言語対応看板、バリアフリー化などの整備、本市の魅力を国内外に発信するためのプロモーション、機運醸成などを行なってまいりました。

大会本番は、新型コロナウイルス感染拡大による緊急事態宣言下での異例の開催となりました。パラリンピックは、残念ながら無観客となりましたが、オリンピックでは、競技会場となった日本サイクルスポーツセンターに延べ約11,200人の観戦客が訪れました。

オリンピックの期間中、修善寺駅では市民の皆さま、都市ボランティアの皆さまをはじめ、東京2020組織委員会、静岡県など多くの関係機関の皆さまと共に、できる限りのおもてなしでお迎えをいたしました。幸いにして大会期間中大きな事故などもなく、開催地としての責務を最大限果たすことが出来たと感じています。

また、オリンピック最終日に、女子オムニウムで、伊豆に練習の本拠を置く梶原悠未選手が日本人女性初の銀メダルを獲得され、伊豆ベロドロームにおける有終の美を飾られたことは、本市にとりましても、大きなレガシーとなりました。

東京2020大会は閉幕しましたが、これからが伊豆市の新しい歴史のスタートです。今後、東部・伊豆半島が一丸となって自転車によるまちづくりを推進するとともに、本市といたしましても東京2020大会のレガシー創出に取り組んでまいります。

終わりに、この記念誌を通じて、約6年間を共に歩んだ市民の皆さまだけでなく、時代を超えて後世の子どもたちや市民の方々に、伊豆市の軌跡を受け継いでいただけることを祈り、発刊にあたっての言葉といたします。

Road to 2020
and
beyond

第1部

東京2020大会開催の記録

2021年。東京2020大会自転車競技は、開催の日を迎えた。
伊豆市を舞台に繰り広げられた、選手たちの熱く激しい戦いは、
人々に大きな興奮と感動を与え、歴史に残る記録を刻んだ。

- 8 大会概要
- 12 会場紹介
- 16 伊豆市に東京2020大会がやってきた!
- 18 テストイベント
- 20 東京2020オリンピック
聖火リレー
- 24 東京2020パラリンピック
聖火リレー聖火フェスティバル
- 26 オリンピック自転車競技
(マウンテンバイク/トラック・レース)
- 34 パラリンピック自転車競技
(トラック・レース)
- 38 東京2020大会 自転車競技結果
- 40 日本代表選手の声



TOKYO 2020

東京2020 オリンピック・パラリンピック 競技大会

開催期間

第32回オリンピック競技大会(2020/東京)

2021年7月23日(金)祝～8月8日(日)祝

東京2020パラリンピック競技大会

2021年8月24日(火)～9月5日(日)

大会ビジョン

スポーツには 世界と未来を変える力がある。

1964年の東京大会は日本を大きく変えた。2020年の東京大会は、

「すべての人が自己ベストを目指し(全員が自己ベスト)」

「一人ひとりが互いを認め合い(多様性と調和)」、「そして、未来につなげよう(未来への継承)」を

3つの基本コンセプトとし、史上最もイノベティブで、世界にポジティブな改革をもたらす大会とする。

3つの基本コンセプト

全員が自己ベスト

- 万全の準備と運営によって、安全・安心で、すべてのアスリートが最高のパフォーマンスを発揮し、自己ベストを記録できる大会を実現。
- 世界最高水準のテクノロジーを競技会場の整備や大会運営に活用。
- ボランティアを含むすべての日本人が、世界中の人々を最高の『おもてなし』で歓迎。

多様性と調和

- 人種、肌の色、性別、性的指向、言語、宗教、政治、障がいの有無など、あらゆる面での違いを肯定し、自然に受け入れ、互いに認め合うことで社会は進歩。
- 東京2020大会を、世界中の人々が多様性と調和の重要性を改めて認識し、共生社会をはぐくむ契機となるような大会とする。

未来への継承

- 東京1964大会は、日本を大きく変え、世界を強く意識する契機になるとともに、高度成長の弾みとなった大会。
- 東京2020大会は、成熟国家となった日本が、今度は世界にポジティブな変革を促し、それらをレガシーとして未来へ継承していく。

大会モットー

ユナイテッド バイ エモーション
United by Emotion

大会モットーとは、大会ビジョンを研ぎ澄ましたメッセージで、東京2020大会が世界と共有したいアイデアやコンセプトの本質をとらえたものです。近年のオリンピック・パラリンピックにおいては、競技会場装飾や都市装飾、デジタルメディアで掲出されるなど、重要な役割を果たしています。

東京2020エンブレム 組市松紋



HOST VENUE

- いちまつもよう
- 『市松模様』を、日本の伝統色である藍色で、粋な日本らしさを描きました。
 - 形の異なる3種類の四角形を組み合わせ、『多様性と調和』のメッセージを込めました。
 - オリンピックエンブレム、パラリンピックエンブレムとも、同じ45ピースの四角形から構成されています。

東京2020マスコット

ミライトワ MIRAITOWA

ミライトワという名前は、『未来』と『永遠』というふたつの言葉を結びつけて生まれました。名前に入められたのは、素晴らしい未来を永遠にという願い。東京2020大会を通じて、世界の人々の心に、希望に満ちた未来をいつまでも輝かせます。



ソメイティ SOMEITY

ソメイティという名前は、桜を代表する『ソメイヨシノ』と非常に力強いという意味の『so mighty』から生まれました。桜の触覚を持ち、驚きの強さを見せるソメイティ。東京2020大会を通じて、桜を愛でる日本の心とパラリンピックアスリートの素晴らしさを印象づけます。

伊豆市で開催された東京2020大会自転車競技

オリンピック自転車競技

マウンテンバイク

7月26日(月) 男子クロスカントリー
7月27日(火) 女子クロスカントリー

トラック・レース

8月2日(月) 女子チームスプリント
女子チームパーシュート
男子チームパーシュート
8月3日(火) 男子チームパーシュート
男子チームスプリント
女子チームパーシュート

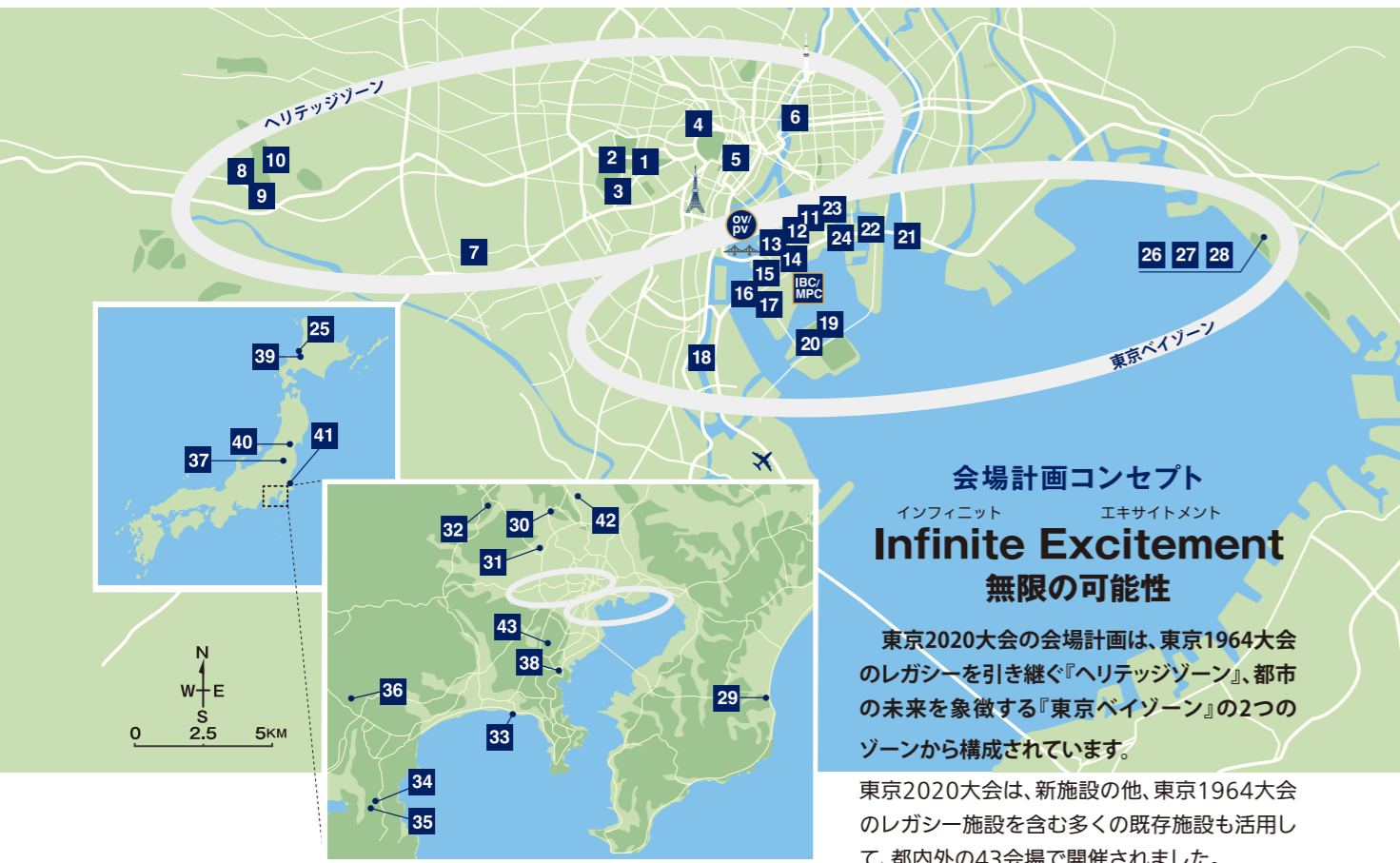
8月4日(水) 男子スプリント/女子ケイリン
男子チームパーシュート
8月5日(木) 男子スプリント/女子ケイリン
男子オムニウム
8月6日(金) 男子スプリント/女子スプリント
女子マディソン
8月7日(土) 女子スプリント/男子ケイリン
男子マディソン
8月8日(日) 男子ケイリン/女子スプリント
女子オムニウム

パラリンピック自転車競技

トラック・レース

8月25日(水) 女子 3000mパーシュート
男子 4000mパーシュート
8月26日(木) 女子 1000mタイムトライアル
男子 3000mパーシュート
男子 1000mタイムトライアル
8月27日(金) 女子 500mタイムトライアル
男子 4000mパーシュート
男子 1000mタイムトライアル
8月28日(土) 女子 3000mパーシュート
混合 750mチームスプリント
男子 1000mタイムトライアル

全国の会場



■ オリンピック競技 ■ パラリンピック競技

- | | | | |
|---|--|---|--|
| <p>1 オリンピックスタジアム
東京都新宿区</p> <p>2 東京体育館
東京都渋谷区</p> <p>3 国立代々木競技場
東京都渋谷区</p> <p>4 日本武道館
東京都千代田区</p> <p>5 東京国際フォーラム
東京都千代田区</p> <p>6 国技館
東京都墨田区</p> <p>7 馬事公苑
東京都世田谷区</p> <p>8 武蔵野の森総合スポーツプラザ
東京都調布市</p> <p>9 東京スタジアム
東京都調布市</p> <p>10 武蔵野の森公園
東京都</p> <p>11 有明アリーナ
東京都江東区</p> | <p>12 有明体操競技場
東京都江東区</p> <p>13 有明アーバンスポーツパーク
東京都江東区</p> <p>14 有明テニスの森
東京都江東区</p> <p>15 お台場海浜公園
東京都港区</p> <p>16 潮風公園
東京都品川区</p> <p>17 青海アーバンスポーツパーク
東京都江東区</p> <p>18 大井ホッケー競技場
東京都品川区・大田区</p> <p>19 海の森クロスカントリーコース
東京都江東区</p> <p>20 海の森水上競技場
東京都江東区</p> <p>21 カヌー・スラロームセンター
東京都江戸川区</p> | <p>22 夢の島公園アーチェリー場
東京都江東区</p> <p>23 東京アクアティクスセンター
東京都江東区</p> <p>24 東京辰巳国際水泳場
東京都江東区</p> <p>25 札幌大通公園
北海道札幌市</p> <p>26 幕張メッセ Aホール
千葉県千葉市</p> <p>27 幕張メッセ Bホール
千葉県千葉市</p> <p>28 幕張メッセ Cホール
千葉県千葉市</p> <p>29 釣ヶ崎海岸サーフィンビーチ
千葉県長生郡一宮町</p> <p>30 さいたまスーパーアリーナ
埼玉県さいたま市</p> <p>31 陸上自衛隊朝霞訓練場
東京都練馬区</p> <p>32 霞ヶ関カンツリー倶楽部
埼玉県川越市</p> <p>33 江の島ヨットハーバー
神奈川県藤沢市</p> | <p>34 伊豆ベロドローム
静岡県伊豆市</p> <p>35 伊豆MTBコース
静岡県伊豆市</p> <p>36 富士スピードウェイ
静岡県駿東郡小山町</p> <p>37 福島あづま球場
福島県福島市</p> <p>38 横浜スタジアム
神奈川県横浜市</p> <p>39 札幌ドーム
北海道札幌市</p> <p>40 宮城スタジアム
宮城県宮城郡利府町</p> <p>41 茨城カシマスタジアム
茨城県鹿嶋市</p> <p>42 埼玉スタジアム2002
埼玉県さいたま市</p> <p>43 横浜国際総合競技場
神奈川県横浜市</p> <p>選手村
東京都中央区</p> <p>IBC/MPC(東京ビッグサイト)
東京都江東区</p> |
|---|--|---|--|

競技数

オリンピックは**33競技**、パラリンピックは**22競技**が実施されました。

オリンピックでは野球・ソフトボール、空手、スケートボード、スポーツクライミング、サーフィンの5競技、パラリンピックではバドミントンとテコンドーが新たに追加されました。

オリンピック競技一覧

<p>水泳 15 23 24</p> <p>アーチェリー 22</p> <p>陸上競技 1 25</p> <p>バドミントン 8</p> <p>野球・ソフトボール 37 38</p> <p>バスケットボール 17 30</p> <p>ボクシング 6</p> <p>カヌー 20 21</p>	<p>馬術 7 19</p> <p>フェンシング 27</p> <p>サッカー 1 9 39 40 41 42 43</p> <p>ゴルフ 32</p> <p>体操 12</p> <p>ハンドボール 3</p> <p>ホッケー 18</p> <p>柔道 4</p> <p>空手 4</p> <p>近代五種 8 9</p> <p>ボート 20</p> <p>ラグビー 9</p>	<p>セーリング 33</p> <p>射撃 31</p> <p>スケートボード 13</p> <p>スポーツクライミング 17</p> <p>サーフィン 29</p> <p>卓球 2</p> <p>テコンドー 26</p> <p>テニス 14</p> <p>トライアスロン 15</p> <p>バレーボール 11 16</p> <p>ウエイトリフティング 5</p> <p>レスリング 26</p>
<p>自転車競技 10 13 34 35 36</p>		

パラリンピック競技一覧

<p>アーチェリー 22</p> <p>陸上競技 1</p> <p>バドミントン 3</p> <p>ボッチャ 12</p> <p>カヌー 20</p> <p>自転車競技 34 36</p> <p>馬術 7</p>	<p>5人制サッカー 17</p> <p>ゴールボール 28</p> <p>柔道 4</p> <p>パワーリフティング 5</p> <p>ボート 20</p> <p>射撃 31</p> <p>シットングバレーボール 26</p> <p>水泳 23</p>	<p>卓球 2</p> <p>テコンドー 27</p> <p>トライアスロン 15</p> <p>車いすバスケットボール 8 11</p> <p>車いすフェンシング 27</p> <p>車いすラグビー 3</p> <p>車いすテニス 14</p>
---	---	--

会場紹介

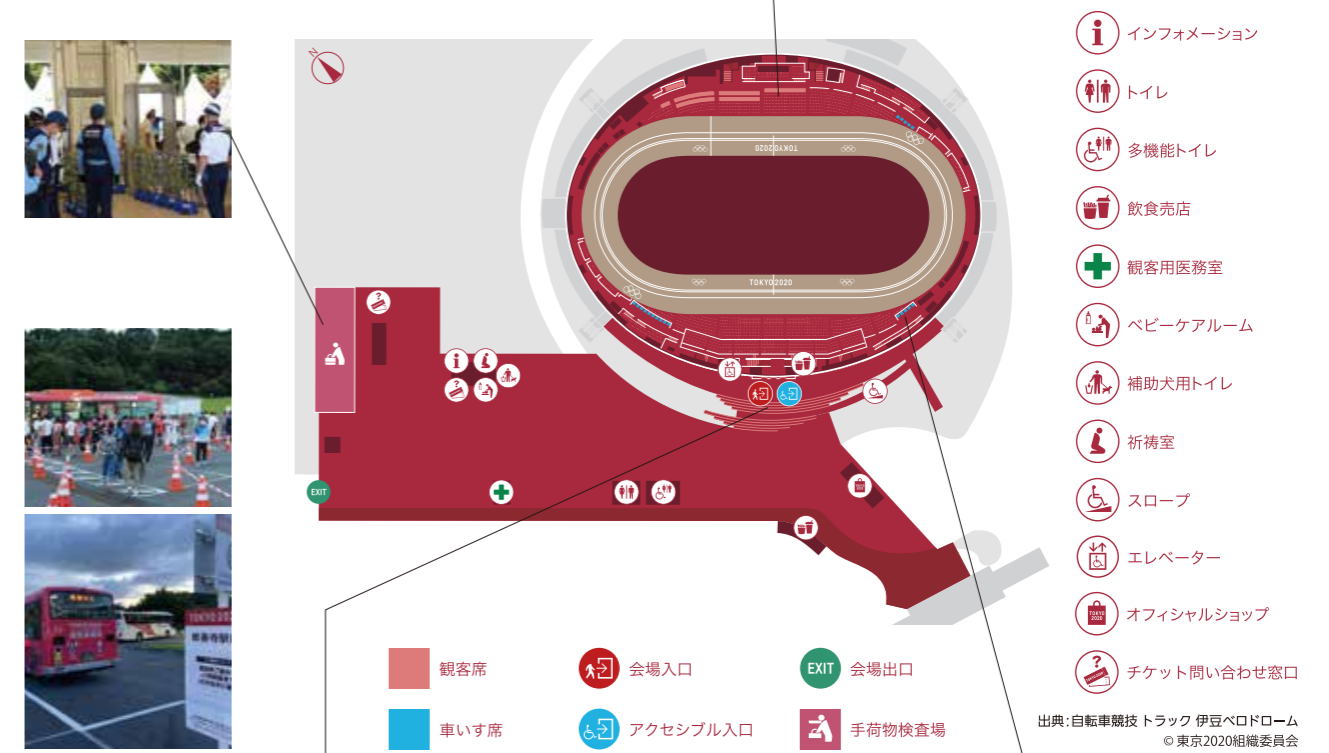
マウンテンバイク

日本サイクルスポーツセンター内に特設された『伊豆マウンテンバイクコース』は、全長4.1km、高低差約160mの周回コース。伊豆の観光名所や日本にちなんで命名された難所が設けられた。



オリンピック・パラリンピックトラック・レース(伊豆ベロドローム)

2011年、日本サイクルスポーツセンター内に完成した伊豆ベロドローム。屋内板張り250mトラックという国際基準を満たす日本で最初の自転車競技場。東京2020大会に向けて、仮設席の設置やエレベーターの増設、照明・音響工事などが行なわれた。



新型コロナウイルス感染症対策について

東京2020大会を安全・安心に開催するため、大会主催者である東京2020組織委員会では、国、東京都、国際オリンピック委員会(IOC)、国際パラリンピック委員会(IPC)などと連携して、準備が行なわれた。



プレイブック(ルールブック)について

東京2020組織委員会と国際オリンピック委員会(IOC)、国際パラリンピック委員会(IPC)は2021年2月3日(水)、東京2020大会に参加するステークホルダー向けのプレイブック(ルールブック)の初版を公表した。プレイブックは2020年12月の新型コロナウイルス感染症対策調整会議の中間整理を基に、IOC、IPC、世界保健機関(WHO)および第三者である世界中の専門家・機関からの助言、コロナ禍の中で開催された世界中の国際的なスポーツイベントからの学びを参考にして作成された。

ステークホルダー別に作成されたプレイブック初版は、当事者の視点で作成されており、行程ごとに行なうべき基本原則や枠組みが規定された。出国前・入国時の検査実施や、大会期間中におけるスマートフォン用アプリを使用した健康モニタリングや接触状況の把握など、様々な対策が記され、各ステークホルダーには策定されたガイドラインの遵守が求められた。

4月28日(水)には選手・チームオフィシャル向けプレイブック第2版が発行され、より詳細な参加者の対策が示された。スクリーニング検査、マスク着用、個人の衛生管理、フィジカルディスタンスなどの衛生対策に加え、世界中でコロナ禍においても参加者と地元住民のリスクを最小限に抑えつつ、安全に開催されてきたスポーツイベントの経験が盛り込まれた。

さらに6月15日(火)に公表された第3版では、海外からの来日参加者へ向けた内容が更新され、行動管理ルールの強化、検査頻度やプロセスの具体化、ルール違反に対する制裁措置の明確化が図られたほか、プレイブック第2版以降の課題対応なども記載された。

海外観客について

2021年3月20日(土)に国際オリンピック委員会(IOC)、国際パラリンピック委員会(IPC)、東京2020組織委員会、東京都、国の五者は、東京2020大会の海外からの観客の受け入れについてリモートで協議を行ない、日本側は世界各国におけるコロナ禍の現状を鑑み、海外観客の日本への受け入れを断念するという結論をIOCとIPCに伝えた。日本も含めた世界各国では感染状況は依然厳しく、また国境をまたぐ往来が厳しく制限されていたことから、確実に安全・安心な大会を実現するため、この結論に至った。IOCとIPCは五者協議の場にて、全ての参加者にとって安全最優先な大会とするという方針に則るとともに、日本へ配慮し、この結論を尊重して受け入れることを表明した。



観客数等の方針

オリンピック競技大会

東京2020オリンピック競技大会における観客数の方針について、国際オリンピック委員会(IOC)、国際パラリンピック委員会(IPC)、東京2020組織委員会、東京都、国の五者による協議が行なわれた。

まず2021年6月21日(月)のリモートによる協議においては、日本側が示した以下の方針について、IOC・IPCが合意に達した。

- 日本政府のイベント開催制限を踏まえ、全会場において観客数の上限を『収容定員50%以内で1万人』とする(学校連携の児童生徒・引率者については別途取り扱う)。
- 競技実施時間は現行のスケジュールは維持し、上記に定める観客の入場も認めることを基本とする。
- 7月12日(月)以降、緊急事態宣言またはまん延防止等重点措置が発動された場合、無観客も含め当該措置が発動された時の措置内容を踏まえた対応を基本とする。
- 安全・安心な状況確保のため、観客対象のガイドラインを作成し、会場内でのマスクの常時着用、大声の禁止、アナウンス等による混雑回避、分散退場等を定めるとともに、行き帰りについて、直行直帰の要請、都道府県を跨る移動の際の注意点などを提示する。
- 観客以外の人流対策として、ライブサイト及びパブリックビューイングについては中止又は規模縮小の方向で検討するとともに、関連イベントの見直しを行ない、コロナ禍における安全・安心な応援方法などを提示する。
- 安全・安心な大会に向けて、専門的知見からモニタリングを行なう。
- パラリンピックについては、オリンピック開会式の一週間前の7月16日(金)までに方針を決定する。

その後、7月8日(木)には東京都に緊急事態宣言の発出が決定されたことを受けて、再び五者はリモートによる協議を急遽開催。IOCとIPCは以下の日本側の方針に対して合意した。

- 緊急事態宣言を受け、人流の抑制と感染拡大の防止等に向けたより厳しい措置として、無観客とする。なお、本方針の下、緊急事態措置が講じられていない区域においては、関係自治体等連絡協議会を開催し、各地域の状況を踏まえて首長と協議の上、具体的な措置を決める。
- 感染状況などについて大きな変化が生じた場合には、速やかに五者協議を開催し、観客についての対応を検討する。パラリンピックについては、今後の感染状況等を踏まえて判断する必要があることから、オリンピック閉会后に、パラリンピックの観客数の取り扱いを決める。

パラリンピック競技大会

2021年8月16日(月)、国際パラリンピック委員会(IPC)、東京2020組織委員会、東京都、国の四者は、パラリンピック競技大会の観客数の方針についてリモートにて協議した。会議において、IPCは日本側が提示した方針に対し、合意した。

- 東京都、埼玉県、千葉県に緊急事態宣言が発出され、また、静岡県が緊急事態宣言発出の要請をしている状況及び現下の感染状況を踏まえ、全ての競技について無観客とする。
- 路上競技については、沿道での観戦の自粛を求める。
- 学校連携観戦は共生社会の実現に向けた教育的要素が大きいため、保護者などの意向を踏まえて自治体や学校設置者が希望する場合には、安全対策を講じた上で実施可能とする。

2020

伊豆市に

東京2020大会が

やってきた!

2021年、ついにこの時がやってきた。

東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会が

1年の延期を経て、幕を開けた。

伊豆市を舞台に、

世界トップレベルの選手が華麗な戦いを繰り広げた。

日本中が、世界中が、伊豆市に注目した、記念すべき瞬間。

大会の成功に向けて、

みんなの心はひとつになった。

テストイベント

マウンテンバイク

2019年10月6日(日)
伊豆マウンテンバイクコース



世界32か国から選手・スタッフが参加

2019年10月6日(日)、『マウンテンバイク』のテストイベントが行なわれた(東京2020組織委員会主催)。会場の伊豆マウンテンバイクコース(日本サイクルスポーツセンター内)は、オリンピック仕様に改修後、初のお披露目となった。世界32か国より、男女合わせて総勢87人の選手が出場し、急な登り坂や岩場などを備えた世界トップレベルの難しいコースを激走。男子ではニノ・シューター選手(スイス)、女子はヨランダ・ネフ選手(スイス)が優勝した。



新たに生まれ変わった伊豆マウンテンバイクコースには豊かな自然を最大限に生かし、『天城越え』、『浄蓮の滝』といった名所や、『箸』、『桜吹雪』など日本にちなんだ名称の難所が設けられた。選手たちが繰り広げる、迫力ある走りを間近で見た観客たちは、大満足の様子だった。今回のテストイベントでは静岡県主催による観客輸送のテストも行なわれ、全体で2020人のモニターが参加。約1700人が修善寺駅からのシャトルバスを利用し、乗車前の駅周辺の混雑・滞留状況、会場内の移動や、帰りのシャトルバスの乗車・運行状況などを確認したほか、駅構内には都市ボランティア(シティキャスト)も配置され、様々な課題について検証し大会本番への備えとした。

Message 担当者の声



東京2020組織委員会
大会運営局会場マネジメント部
おおじ ひろふみ
大路 弘文 (伊豆市から出向)
東京2020大会用に生まれ変わったマウンテンバイクコースの誕生です。コースのお披露目とともに、テストイベントを通じ伊豆市民をはじめ多くの方々にマウンテンバイクの魅力を感じていただきたいと思います。

トラック・レース

2021年4月25日(日)
伊豆ペロドローム



自転車競技の中でテストイベントが未実施だった『トラック・レース』が2021年4月25日(日)に伊豆ペロドロームで開催された(東京2020組織委員会主催)。海外選手の参加は無く、国内選手のみ参加。代表が内定していた橋本英也選手、小林優香選手、脇本雄太選手、新田祐大選手の4人をはじめ、総勢48人の選手がスプリント、チームスプリント、チームパーシュート、マディソン、ケイリンを1日で予選から決勝までを実施。代表4選手はベストタイムや出場種目での優勝など順調な仕上がりを見せた。



視察に訪れた東京2020組織委員会
橋本聖子会長



無観客でメディアのみの入場。検温や消毒などの基本的な対策や、選手との接触を極力無くし、選手取材はリモート会見中心など『アスリート・ファースト』の感染症対策が徹底された。大会進行の遅れが生じたことや記者の密集対策などの課題がありつつも、有意義なテストイベントとなった。

Message 担当者・選手の声



東京2020組織委員会
広報局広報部戦略広報課
しらかき こうき
白崎 孝紀
未実施だったテストイベントがようやく開催できてホッとしています。メディアのみの入場ではありますが、取材を通してトラック・レースが魅力的に、広く伝わるように、広報業務に注力していきます。日本代表選手の活躍が楽しみです。



東京2020組織委員会
大会運営局会場マネジメント部
ほりおかあずさ
堀岡 梓 (伊豆市から出向)
大会を現地で安心安全かつ楽しくストレスなく観戦できるよう体制づくりをサポートしています。伊豆市の皆さんも多くの方が訪れる大会当日はおもてなしの気持ちで迎え、大会後も会場に訪れるなどして地元開催を楽しんでください。



東京2020 公式リモート配信より
日本代表
こばやし ゆうか
小林 優香 選手
スプリント予選で10秒612という自己ベスト(=日本記録)を出すことができ、うまく調整できています。延期が、じっくり考える時間となり、集中したトレーニングの成果であると感じています。本番が楽しみです。



日本代表
はしもと えいや
橋本 英也 選手
出場全てのレースで優勝できて、順調な仕上がりと捉えています。感染症対策の面でも選手が守られていると感じ、競技に集中できました。本番に向けて課題も見えましたし、ますます気持ちが高まっています。

東京2020オリンピック聖火リレー

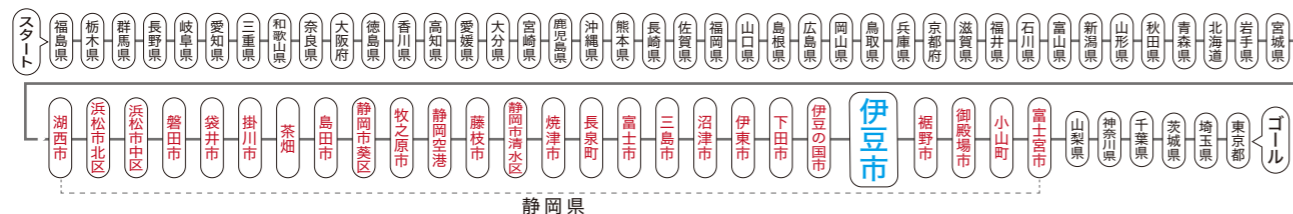
2021年6月25日(金)
伊豆市・修善寺温泉街



全国各地を巡る東京2020オリンピック聖火リレーが、2021年6月23日(水)～25日(金)の3日間、静岡県内にて実施された。伊豆市は3日目の第4区間となり、修善寺温泉街を舞台として竹林の小径や、独鈷の湯、修禅寺などの名所の周辺を通る約1.8kmのルートで、9人のランナーが走った。沿道からは伊豆市内の全小中義務教育学校の児童生徒約1,600人や市民たちが、感染症対策のため声援に代わり、拍手やうちわを振って熱い応援を送った。ゴールの修善寺総合会館では19人のサポートランナーが最終走者を迎えて、次の裾野市へと聖火をつなぐミニセレブレーションを行なった。



オリンピック聖火リレールート



Message 聖火ランナーの声



千葉大学/静岡県立静岡がんセンター
えんどう まさひろ
遠藤 正浩

かつて通学路として親しんだ修善寺のまちを、聖火ランナーとして走ることができ、感無量です。コロナ禍が続く世の中ですが、大会に出場する選手の方々に頑張ってもらいたいです。医療関係者の方たちにもエールを送りたいです。



水口治療院
みずぐち しげお
水口 茂生

最後まで楽しく走り、無事トーチを繋ぐことができました。修善寺小学校の皆さんのメッセージからいただいた勇気と、一緒に走ってくれたイクシヨンのおかげです。今回を機に、視覚障がい者や盲導犬への理解が広がることを願っています。



天城小学校 教員
ながくら すみこ
長倉 須美子

これまで伊豆市内の各小学校で指導してきた教員たちが集まってくれたこと、感染症対策で声が出せない中、うちわを一生懸命振って応援してくれる中を走れたことは、教師冥利に尽きます。大会本番は市民として応援していきます。

東京 2020オリンピック聖火リレー ルートマップ

凡例
● 聖火リレー走行ルート(走行距離 約1.8km 走行聖火ランナー 9人)
● 児童・生徒観覧エリア ● 市民観覧エリア
○ 聖火ランナー交代ポイント



Message 観覧者の声



母が聖火ランナーを務めるため、親戚や母の職場の方々と一緒に応援に来ました。伊豆市は地元・伊東の隣なので、自転車競技の会場に選ばれて良かったと思います。母のことも、伊豆ペドロームのことも、東京2020大会が自分にとって身近なものに感じられて、嬉しいです。



子どもたちや地域の人たちが、うちわや手を振って笑顔で応援している姿は、とてもキラキラして見えました。市民が世代を超えてひとつになった、この場に立ち会えたことは、一生の思い出になりました。東京2020大会が盛り上がり、世の中が明るくなることを願っています。



聖火リレーを間近で、しかも伊豆市で見ることができて、感激の一言です。このような貴重な経験は、きっと人生最初で最後ですから、地元で大会が開催されることは嬉しいことですし、何より楽しみです。選手の方々に、積み重ねてきた力を発揮してもらいたいです。



サポートランナー

当日は修善寺総合会館駐車場内を市内小中義務教育学校の代表児童・生徒19人がサポートランナーとして走行した。

Message サポートランナーの声



熊坂小学校 4年生
いとう しんのすけ
伊東 慎之助

会場に向かう車の中から、ずっと心臓がパクパクしてかなり緊張していました。けれど、友達、家族、先生をはじめ色々な人が応援してくれたので、本番はあまり緊張せず楽しめました。大役を果たせて嬉しい気持ちで一杯です。



中伊豆中学校 1年生
きくち じゅん
菊地 旬

オリンピックをこんなに身近に感じられる貴重な時間を楽しめたのは、嬉しい限りです。一生に一度あるかどうかという体験ができて、感謝しています。このTシャツを宝物にして、これからも様々な目標に向かって頑張ります！



東京スカイツリー®静岡県特別ライティング

2021年6月23日(水)~6月25日(金)

東京2020オリンピック聖火リレーが47都道府県を巡回するのに合わせ、東京スカイツリー®では特別ライティングが行なわれた。各都道府県にてリレーが実施されている間、各都道府県をイメージするカラーで彩るもので、静岡県は上段が白色、中段と下段がロイヤルブルーで、世界遺産である『富士山』を表現した配色となった。また天望デッキには、東京2020オリンピック聖火リレーのコンセプトである『Hope Lights Our Way』と各都道府県名などが表示された。



Message 担当者の声



静岡県オリンピック聖火リレーボランティア
さわき いくご
澤木 育子

目の前を走るトーチを見て、祭典の素晴らしさを改めて感じました。聖火リレーの観覧には色々制約のある中、市民の皆さん一人ひとりがルールを守って参加している様子を見て、より一層東京2020大会への想が強くなりました。



伊豆市観光商工課
さとう けん
佐藤 賢

一生に一度の機会に運営に携われるのは、大変光栄です。自転車への興味が高まってきたので、自分でもぜひ挑戦したいです。



東海自動車株式会社(東海バス)バス営業部
いしい あきら
石井 啓

オリンピック聖火リレーの会場に、伊豆市内の児童・生徒の皆さんを無事に送り届けることができました。市内各バス会社とも連携し、効率的な配送計画や感染症対策などを調整し、子どもたちの貴重な体験に貢献できたことは、会社としても、私にとってもよい経験・財産となっています。



聖火リレー運営スタッフ(SBSプロモーション)
わたなべ たくみ
渡邊 拓海

シャトルバスの発着所である修善寺虹の郷にて、一般観客のサポート業務を担当しました。受付にて来場したお客様に手指の消毒などを行なっていたり、シャトルバスへご案内しました。事故の無いように、安心・安全に努めました。



東京2020パラリンピック聖火リレーの 聖火フェスティバルで活用する種火採火イベント

2021年8月16日(月)
伊豆市役所

伊豆市役所にて『東京2020パラリンピック聖火リレーの聖火フェスティバルで活用する種火採火イベント』を開催した。静岡県では全35市町が、各地域の特色を活かした形で採火を実施。伊豆市では修善寺の境内にて『キャンドルナイト in 修善寺温泉』から譲り受けた祈願ろうそくの火から、10人の採火者が種火を採った。採火された種火は翌17日の採火式へと引き継がれた。採火者は市内の社会福祉団体、事業所の代表者だった。



Message 採火者・協力者・観覧者の声



種火採火者
きどころ きつき
城所 紗月
県東部地区の障がい者運動会の50m走で優勝したことから、採火担当に選んでいただきました。滅多にできない経験で緊張しましたが、楽しかったです。良い記念になりました。私もスポーツは好きなので、色々挑戦してみたいです。



種火採火者
ひかわ よしあき
樋川 美明
初めての大役を無事に終えられて、ほっとしました。自転車競技はスピードがあって好きです。パラリンピックでも日本人選手にメダルを獲って欲しいです。柔道も今更には伊豆市出身の土屋選手が出るので、楽しみにしています。



修善寺温泉旅館協同組合事務局
うえだ かずこ
植田 和子
昨年に続き今年の『キャンドルナイト in 修善寺』も残念ながら中止となりましたが、世界に通ずるイベントのお手伝いできて嬉しく思います。今日は弘法大師のご加護に感謝しつつ、地域活性と平和への願いを込めて、火を灯しました。



一般観覧者
つるはら たかし
鶴原 貴志
市民として地元を盛り上げるため、イベントには積極的に参加していましたが、世界に通ずるイベントのお手伝いできて嬉しく思います。今日は弘法大師のご加護に感謝しつつ、地域活性と平和への願いを込めて、火を灯しました。

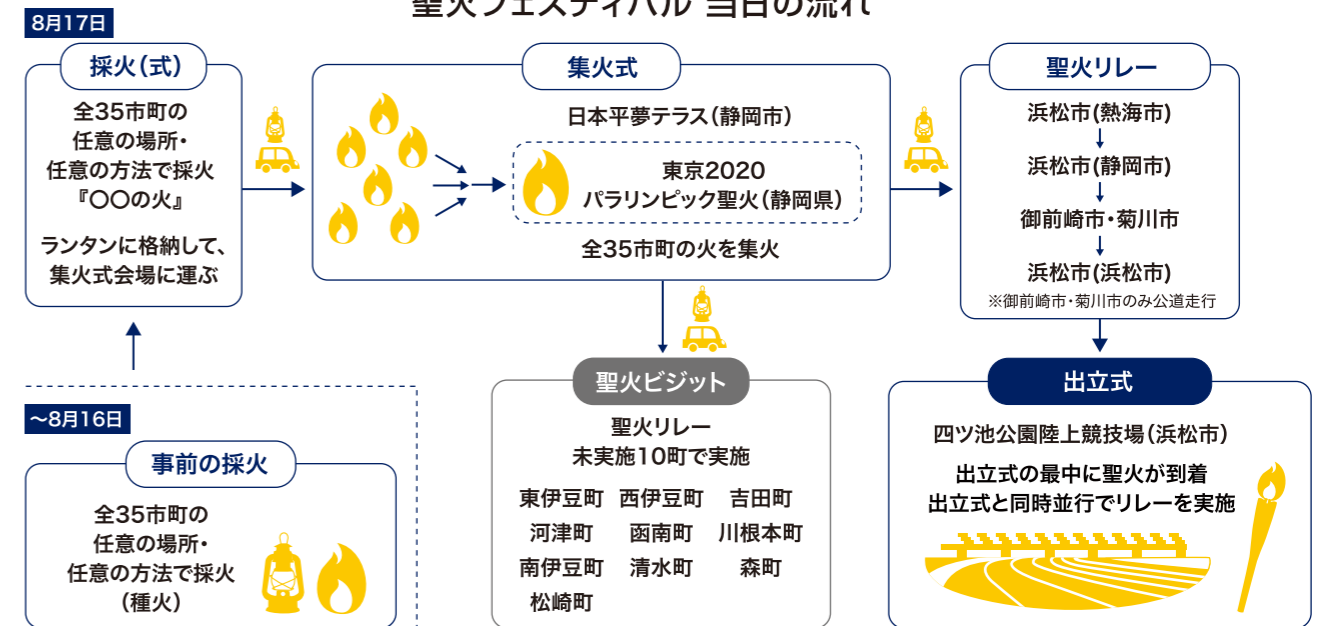
採火式

2021年8月17日(火)
日本サイクルスポーツセンター

伊豆市社会福祉協議会飯田正志会長が手に持った前日採火された種火の入ったランタンから、菊地豊伊豆市長が『自転車と伊豆 今、走り出すの火』を採火した。



聖火フェスティバル 当日の流れ



集火式(静岡県主催)

2021年8月17日(火)
日本平夢テラス

伊豆市を含む静岡県35市町が独自の方法で採火した『〇〇の火』を『日本平夢テラス』に運び、ひとつに集め、『東京2020パラリンピック聖火(静岡県)』とするセレモニーが行なわれた。コロナ禍に伴い、各市町の首長はビデオメッセージにて参加。伊豆市オリンピック・パラリンピック推進課の森嶋哲男課長がセレモニーに参加し、代表してランタンを掲げた。

